

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コラゾン江東住吉		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様・保護者様の満足度	毎月テーマ活動に応じて、スモールステップでの練習を取り入れていき、お子様の達成感を感じることができるよう活動を工夫して行っている。またよりお子様の様子がわかるように写真等で保護者の対して活動報告を行うことで、家庭でのコミュニケーションの一つとしてご提供できるよう取り組んでいる。	都度お子様・保護者様からのニーズを取り入れながら、より活動とご家庭が連携して支援ができるように努めていく。
2	小集団の中でのコミュニケーション力向上	学校よりも小さい集団の中での運動活動にて相手に伝える・コミュニケーションを自然に行える環境を設定し、伝える機会を多く設ける・時間をかけることができるため、大きな集団の中でも活かせるコミュニケーションの練習に繋げている。	運動活動の中に、チームでの作戦を立てる時間・言葉を交わすことでクリアしていくゲームなど様々な取り組みを増やし、より楽しい活動を提供していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の質	経験なども踏まえて、専門性が一律ではないと感じることがある。	普段のミーティングやケース会議などを通して、どのような支援方法があるのか、言葉かけのタイミングなどを常に話し合い、共通認識をもった支援を実行していけるように努める。またフィードバック・次回に向けての検討などを日々続けていき、一貫した支援を目指していく。
2	外部との連携	他事業所・学校の先生などとの交流の機会が少ないため、お子様の情報が少ないと感じることがある。	事業所間で連携が取れるよう、相談支援事業所との関係性を築いていき、相談させていただくとともに、地域の連絡会などにも参加し、他事業所の皆様と顔を合わせる機会を設けていく。また学校の先生とも送迎時を通して様子を共有できるように関係性を築いていけるようにする。
3			